

イザヤ書を理解するための3つの鍵：概要

- ☒ 鍵① ユダヤ的文脈：比喻・文化・慣習を理解する
- ☒ 鍵② 契約の視点：神とイスラエルの関係が中心テーマ
- ☒ 鍵③ 預言の構造：文学構造・象徴・型に注目

鍵①：ユダヤ的文脈

- ・ 2ニーファイ25章：ユダヤ人の預言の方法を知らねば理解困難
- ・ 詩的構造、象徴（光・闇・義・偶像）などが多用される
- ・ 形式的な儀式 vs 神との関係という批判が頻出

鍵②：契約としてのイザヤ書

- ・ アブラハム契約、ダビデ契約、新しい契約が主軸
- ・ イザヤ書全体が契約訴訟 (covenant lawsuit) 構造を持つ
- ・ 祝福・裁き・回復のサイクルが明確に描かれる

鍵③：預言の構造（文学構造・型）

- ・線形構造：墮落→亡命→回復（三幕構成）
- ・並行構造・カヤズム：章ごとの対比・交互配置
- ・歴史的人物が終末的型（type）として描かれる

イザヤ書の章構造と文学的構造

- ☒ 第1-39章：裁き、契約違反への警告
- ☒ 第40-55章：慰めと回復（キュロス王の型）
- ☒ 第56-66章：全地的回復とシオンの建設
- ☒ 並行テーマ：破滅と回復、屈辱と高揚など